

鹿児島県介護支援専門員協議会令和3年度第2回理事会(要点)

○日時 令和3年10月2日(土)13:30~14:40

○場所 Web 開催

- 1.開催の挨拶 来仙会長 飲み薬 予防薬などコロナ感染対策は講じられているが、意識した対策や自粛は必要である。

※理事紹介 沖永良部・与論支部長 橋口様

2.報告事項

- (1)令和3年度入会状況 九州地区 今年度 長崎県 3層構造となる。(国 県 支部) 佐賀県は三層構造下困難な状況

鹿児島県 肝付 奄美大島・喜界島支部 手続き中であるが。会員は昨年度と比較するとやや減少か。南薩支部は昨年この時期と比較すると1名増 164名

コロナ禍に会員にとって有益な研修会開催が望ましい。

- (2)情報システム協力者 鹿児島県 32名 南薩は3名

これまではモニター協力者数・割合が少なかった。協力者にはメリットがある反面、協力状況について各支部長に情報提供される。

- (3)事業の進捗

法定研修は7月より県から集合研修は控えるように指導があった。

延期の専門課程Ⅰ 専門課程Ⅱは10月～ 専門課程ⅡはA班 B班

方法 内容は研修向上委員会にて 発信会場は北薩 出水(風テラス阿久根)

3.協議事項

- (1)令和3年度法定研修のオンライン化

○専門課程Ⅱ ⇒受講オンライン 受講は一人1台のパソコン(スマートフォン不可)

30名程度できない人がある。(事務局)

今後も受講できない人のフォロー ブレークアウトルームなどの活用 また、恒久的なものなのか・・・検証する。(古城様)

○主任ケアマネ 主任ケアマネ更新⇒平成28年度カリキュラム 事例提出などにてスーパービジョンにて資質向上を図ったが、全体的向上にはつながらなかった。コロナ禍において主任介護支援専門員研修は、前・中・後半と3段階で研修を行っている。前・中はオンラインで可能であるが、後半の模擬体験などは対面方式でないと困難。(岩下様)

○各支部でのオンライン研修状況

- ① 鹿児島支部(阿久根平様)⇒組織として主任・居宅・保険・施設部門とあり、年間各3回 10回くらいは研修を Zoom で行っている。研修会を通じて基本的取り扱いにつ

いて検証

- ② 始良・伊佐支部(福迫様)⇒100～120名参加 支部研修行った。機械トラブル時の対応などに苦慮した。
- ③ いちき・串木野支部(永原様)⇒60名 Zoomの使い方 LINEの使い方などから始めた。

○研修動画配信システム

- ① デジタル・ナレッジでの研修体制 法定研修などでの活用モデル予算 パターン4通りある。
 - ② 日本協会 研修講義動画配信 フルスペックが低価格 15万円で購入 ⇒不明確なところもあるため「導入説明会」などに参加してみる。
- (2)第13回九州・沖縄ブロック in おんせん県おおいた
申し込み締め切り延期 参加を
全国大会 宮崎 来年6/4 6/5
- (3)第2回研修会 11/13 F-SOAIIP(エフ・ソアイピー) 生活支援記録法について
10時から12時 月間ケアマネジメント (2021 9月号)に掲載予定

4.その他

8月～県事務局3名体制 竹原事務局長 森山様 そして始良・宮之原様が加わる。

記録 阿久根 一信(3/10/2)